THE LITTLE GIRL WHO LIVES DOWN THE LANE

雨が窓をたたき
ショパンの名曲が聞こえてくると…
また恐ろしいことが！

ジョディ・フォスター主演

白い家の少女

■カラー作品／パナビジョン■コロムビア映画

ジョディ・フォスター◆マーチン・シーン◆アレクシス・スミス◆スコット・ジャコビー

■原作・脚本レアード・コーニグ■製作ゼブ・ブラウン■監督ニコラス・ジェスネル■音楽モルト・シューマン■原作邦訳版＝新潮社刊■テーマ曲・フィリップス・レコード

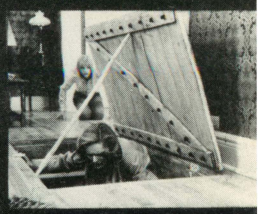
白い家の少女

THE LITTLE GIRL WHO LIVES DOWN THE LANE

●話題の天才少女スター、
ジョディ・フォスターのロマン・サスペンス

77年の1月に来日し、さまざまな話題をまいて、たちまちヤングのアイドルとなってしまった天才少女ジョディ・フォスター。あの「タクシー ドライバー」で13歳の娼婦を演じ、妖しげなお色気とバツグンの演技力で、76年度アカデミー助演女優賞にノミネート。あどけない少女から娼婦役まで、幅広い芸域を誇る77年最大のホープ、ジョディ。この作品では、衝撃のロマン・サスペンスに挑んでいる。

●ジョディが死の影を宿す謎の美少女に——



今回のジョディの役どころは、死の影と謎に包まれた13歳の美少女。海を見おろす丘の上に、人里離れてポツンと建っている白い家。その扉をかたくなに閉ざし、他人を絶対中に入れようとしない少女。まるで陶器のように冷たい、そして妖しげな美しさをもつ彼女の横顔。彼女の両親は、どこにいるのか。失踪した女性の行方は？　いったいこの少女に何が起こったのか？

●目下人気急上昇
マーチン・シーンが不気味な青年役に

ヒロインのジョディ・フォスターを取りまく共演陣は——彼女にまとわりつく不気味な青年に、「カサンドラ・クロス」「地獄の黙示録」などで目下売り出し中のマーチン・シーン。その他、40年代ハリウッドで活躍したベテラン女優アレクシス・スミス、名曲「ラスト・ダンスは私に」の作曲者であり、この作品の音楽監修を担当しているモルト・シューマン、TV出身のスコット・ジャコビーなどが、名演をきそっている。

●霧と小雨にけぶる
ニューヨーク郊外の港町を舞台に——

初冬のニューヨーク郊外の港町、その霧と小雨にけぶる美しい景観をムードたっぷりに描きつくすカメラ。ショパン作曲の〝ピアノ・コンチェルト第1番ホ短調〟が、ロンドン・フィルハーモニック・オーケストラとクラウディア・アラウのピアノ演奏によって、全篇に華麗な色どりをそえている。監督は「扉の影に誰かいる」などのサスペンス派の名匠ニコラス・ジェスネル。

■カラー作品/パナビジョン■コロムビア映画

Columbia Pictures

近日ロードショー

日比谷 みゆき座 (591) 5357

●特別鑑賞券￥1,000（一般￥1,300・大学￥1,100のところ）劇場窓口にて発売中！